

科目名 Course Name	カラーコーディネート Color Coordination				ナンバリング No.	C3-002	
年次	2年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	阿部芳子						
連絡先(質問等)	非常勤講師室						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2,Dp3						
授業の概要と到達目標	色彩の基本的理論を学び、ビジネス社会や生活で役立つ配色を考え、活かせるようにする。 ①色彩の基礎、配色調和、色とイメージ、②商品の色、暮らしに役立つ配色 ③美容・ファッション・食事 ④コミュニケーションを作る色、日本の色 ⑤色彩心理 ⑥色彩について、知識とセンスを身につけ、感性を高めることの重要性が説明できるようにする。						
授業の方法	テキストとカラーサンプルで基本を理解し、資料と色彩運用技術で色彩実務スキルアップ、さらに提案や調査による提出物で、色彩の理解と着実な色彩運用能力を高める。テーマごとにカラー提案や調査など、レポート提出をする。						
学習成果	L01						
	L02	色彩の基本的知識、技術を身につけ、アシスタント的業務につき、ある程度の自己判断をしながら、業務を遂行することができる。商品企画・デザインに関する業務であれば、商品色の原案を目的に沿って提示できる程度の色彩技術(スキル)を持つことができる。					
	L03	販売関連業務であれば店頭で、色彩的視点から商品陳列、展示できる技能・技術をもち、接客では、個々のお客様に対し初歩的なカラーコーディネートアドバイスをすることができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	課題提出後の講評。小テストは模範解答を示し、各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	教書書:色彩検定 2級編 公式テキスト(文部科学省後援) トーナルカラー65色 参考書:色の辞典(西東社)、色の教科書(Gakken)						
履修上の留意点やルール等	●日頃、色に関心を持ち、積極的に授業参加することを臨む。 ●スケッチブック A4, 色鉛筆準備 事後学習の時間は各回 180 分						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度					
レポート/作品	与えられた課題を自ら考え、表現され、期限内に提出されている。			30	
発表					
小テスト	内容が十分に理解されているか、評価する。		20		
試験	色の見え方、色の働き、色彩調和、色彩心理、色彩と生活、効果など、基本的なことが理解されているか。 S 評価 90—100			50	
その他					
合計			20	80	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス 色の働き ①生活の中の色彩 ②ファッションと色彩
	事前・事後学習	生活の中の色について、サインとしての色や自然の季節の色の変化に気づくこと。
2	授業内容	色の基礎知識 :分類 色相 色相環 色の表し方 色の表示方法
	事前・事後学習	色の見え方、色に影響を与えるもの、色を感じるメカニズム
3	授業内容	色の明るさ 強度 トーンの種類
	事前・事後学習	明度と彩度が同じような色は同じような印象を与える。
4	授業内容	色の見え方、感じ方
	事前・事後学習	色の心理効果、色の視覚効果、見えやすさ、錯覚
5	授業内容	単色イメージ、配色イメージ、配色と配色調和
	事前・事後学習	色から受けるイメージ
6	授業内容	自然な調和、流行色、まとまりのある配色、メリハリのある配色
	事前・事後学習	イメージを表現する配色
7	授業内容	配色技法 :ファッションと色彩 ①イメージを表現する配色
	事前・事後学習	企画段階の色彩、生産段階の色彩、流通・販売段階の色彩
8	授業内容	配色技法 :ファッションと色彩 ②ファッション産業における色彩を取り扱う姿勢
	事前・事後学習	商品陳列と色彩、照明と色、コーディネートと色彩
9	授業内容	日本の色＝歴史に残る伝統色 ①かさね色目、陰陽五行と冠位十二階
	事前・事後学習	きもの着装の色重ねや和食の配色などで確認する。
10	授業内容	日本の色＝歴史に残る伝統色 ②ジャパンプルー、雅・粋・詫・寂・バサラ [レポート]
	事前・事後学習	日本人の感性と色は、豊かな自然から、歴史に残るこだわりの色となっている。
11	授業内容	パーソナルコーディネートと色彩 ①色・素材の質・形との関係
	事前・事後学習	似合う色、好きな色、好印象や気分が良くなることなど。
12	授業内容	パーソナルコーディネートと色彩 ② 色が人に与える影響、カラーセラピー [ドレーピング体験]
	事前・事後学習	似合う色、好きな色は、性格の心理状態を表すことも！
13	授業内容	商品企画における色彩計画、カラーコンセプト、配色と色の見え方
	事前・事後学習	スタイリッシュさ、カジュアルさ、新鮮さ、アピールしたい色、他。
14	授業内容	生活環境と色彩 インテリア・エクステリア・プロダクト・メディア
	事前・事後学習	興味を引きつけ、楽しさを感じさせる色使い。
15	授業内容	販売における色彩計画、VMD と色彩、ディスプレイやファッションへの応用 [レポート]
	事前・事後学習	関心のあるテーマについて調査・考察し、レポート提出をする。